CORONA

コロナルームエアコン
（冷暖房兼用セパレートタイプ）

取扱説明書

室内ユニット

シーエスエイチ　ビー
CSH-B56122

室外ユニット

シーオーエイチ　ビー
COH-B56122

このたびは、コロナルームエアコンをお買いあげいただきましてありがとうございました。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで正しくご使用ください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」とともに大切に保管してください。

もくじ

1 安全上のご注意（必ずお守りください）

●ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

○表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	″取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること″を示します。
⚠注意	″取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること″を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

○図記号の説明

図記号	図　記　号　の　意　味
⊘	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
●	指示する行為を強制（必ず守ること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

据え付け時のご注意

⚠警告

据え付けは、お買いあげの販売店または専門業者に依頼する

ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水もれや感電・火災の原因になります。

必ず守る

漏電しゃ断器を取り付ける

漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電、火災の原因になります。
お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。

必ず守る

電源は必ずエアコン専用のコンセントを使用する

専用以外のコンセントを使用すると、発熱による火災の原因になります。

必ず守る

アース(接地)を確実におこなう

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。

アース工事

指定冷媒以外は使用（冷媒補充・入替え）しない

機器の故障や破裂、ケガなどの原因になります。

禁止

⚠注意

可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一ガスがもれてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

禁止

ドレンホースは、確実に排水するように配管する

不確実な場合は屋内に水もれし、家財などをぬらす原因になることがあります。

必ず守る

移設・修理時のご注意

⚠警告

修理は、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターに依頼する

修理に不備があると感電・火災などの原因になります。

必ず守る

エアコンを移動再設置する場合などは、お買いあげの販売店または専門業者に依頼する

据え付け不備があると感電・火災などの原因になります。

必ず守る

安全に使っていただくためのご注意

⚠警告

吹出口や吸込口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

禁止

長時間冷風を身体に直接あてたり､冷やしすぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

●据え付けに関する詳細については13ページの「据え付け」の項目をごらんください。
●修理については、12・14ページの「このようなときには」や「修理・保証」の項目をごらんください。

安全に使っていただくためのご注意

⚠警告

電源プラグは、電源プラグ側だけでなくコンセント側にもほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込む

必ず守る

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。コンセントにがたつきがある場合は、お買いあげの販売店または専門業者に相談してください。

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き修理を依頼する

プラグを抜く

異常のまま運転を続けると故障や感電、火災などの原因になります。お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターに依頼してください。

電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱や加工したりしない

禁止

電源コードが破損して、感電や発熱・火災の原因になります。

運転中に、電源プラグを抜いて停止しない

禁止

感電や火災の原因になります。

エアコンが冷えない、暖まらない場合は冷媒のもれが原因のひとつとして考えられるので、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターに相談する
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する

必ず守る

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常もれることはありませんが、万一冷媒が室内にもれ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒な生成物が発生する原因になります。

電源コードの途中での接続、延長コードの使用、タコ足配線はしない

禁止

感電や発熱・火災の原因になります。

室内ユニット内部の洗浄はお客様自身ではおこなわず、必ずお買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口に相談する

必ず守る

誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄をおこなうと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になることがあります。
また、洗浄剤が電気部品やモータにかかると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

⚠注意

室外ユニットの上に乗ったり、物をのせたりしない

禁止

落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。

エアコンの風が直接あたる所で燃焼器具を使わない

禁止

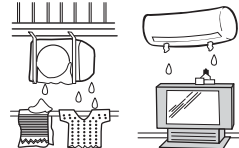
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

特殊用途には使用しない

禁止

食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。食品の品質低下などの原因になることがあります。

室内外ユニットの下に他の電気製品や家財などを置かない

禁止

水滴が滴下する場合があり、汚損や故障の原因になることがあります。

燃焼器具と併用するときは、こまめに換気する

必ず守る

換気が不十分な場合は、酸素不足により不完全燃焼の原因になることがあります。

お手入れのときは必ずスイッチを「停止」にし、プラグも抜く

プラグを抜く

内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

動植物に直接風をあてない

禁止

動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

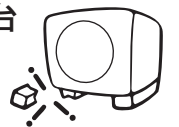
電源プラグを抜くときは、コードを引っ張って抜かない

禁止

芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。

長期使用で傷んだままの据付台などで使用しない

禁止

ユニットの落下・転倒につながり、ケガなどの原因になることがあります。

長期間使用しない場合は電源プラグを抜く

プラグを抜く

ほこりがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせない

水ぬれ禁止

漏電によって感電や発火の原因になることがあります。

雷が鳴り落雷のおそれがあるときは運転を停止し、電源プラグを抜く

プラグを抜く

被雷すると、故障の原因になることがあります。

ユニットのアルミフィンにさわらない

接触禁止

ケガの原因になることがあります。

ぬれた手でスイッチを操作しない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

エアコンの操作やお手入れのときは、不安定な台に乗らない

禁止

転倒などケガの原因になることがあります。

吸込口や吹出口をふさがない

禁止

能力低下や故障の原因になることがあります。

冷房やドライ運転時、窓を開けた状態(湿度80%以上)で長時間運転をしない

禁止

室内ユニットに露がつき、滴下して家財などをぬらし汚損の原因になることがあります。

床面などにワックスを塗布するときは、運転をしない

禁止

エアコン内部にワックスの成分が付着し、水もれの原因になります。ワックス塗布後は十分換気してから運転してください。

2 各部のなまえとはたらき

室内ユニット

自動運転スイッチ
（内部）
応急自動運転および内部乾燥運転をしたいときに使用します。
（☞ リモコンが使えないとき（応急自動運転） 5ページ）
（☞ 内部乾燥運転 10 ページ）

吸込口
（天面）
室内の空気を吸い込みます。

オープンパネル
はずして洗うことができます。
（☞ オープンパネルのお手入れ 11 ページ）

吹出口
風向を調節します。
（☞ 風向調節 9ページ）

ルーバー

左右風向グリル

型式・製造年
銘板に表示されています。

エアフィルター（抗菌・防カビ）
吸い込んだ空気中のほこりやゴミを取り除きます。
（☞ エアフィルターのお手入れ 11 ページ）

電源コード

電源プラグ

ドレンホース
冷房・ドライ運転時に室内ユニットから出た水分を室外へ排出します。（☞ 据え付け 13ページ）

室外ユニット

吸込口
（背面・側面）

吹出口
冷房・ドライ運転中は温風、
暖房運転中は冷風を吹き出します。

排水口
（底面）
暖房・内部乾燥運転時に室外ユニットから出た水分を排出します。

アースネジ
（内部）

型式
銘板に表示されています。

付属品

（☞ リモコン 4ページ）
（☞ 運転前の準備 5ページ）

※取付ねじ２本付

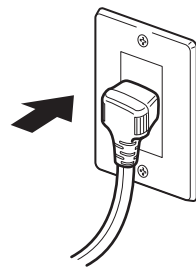
（☞ 運転前の準備 5ページ）

ご注意

■室内ユニット受信部とリモコンの間にカーテンなど信号をさえぎる物があると、リモコンの信号を受付けません。
■室内ユニット受信部に直射日光があたっていると、リモコンの信号を受付けない場合があります。
■電子瞬時点灯方式またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では、リモコンの信号を受付けない場合があります。
このようなときは、お買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。
■リモコンを投げたり、落としたりしないでください。また、水などをかけたりしないでください。
■エアコンは室温センサにより、設定温度にあわせてエアコンの運転能力を調整します。
- 室温センサは室内ユニット周辺の温度を感知していますので、お部屋の温度計とは一致しないことがあります。
- 室内ユニットに直射日光やすきま風があたっていたり、他の光熱器具の影響を受けている場合は、室温センサが正確に作動しません。

3 運転前の準備

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

ゆるみのないようにしっかりと差し込みます。

お知らせ

■電源プラグをコンセントに差し込むと、リモコン受信をするまで本体表示部の運転（セーブ）ランプ【緑色】が点滅した状態となります。

2. 付属の乾電池をリモコンに入れます。

乾電池の交換時期	■液晶表示部がうすくなってきたら、電池が消耗してきています。 新しい乾電池に交換してください。
使用乾電池	■単４形（UM-4）1.5V　２個

お知らせ

■通常のご使用で乾電池の寿命は約１年です。
■付属の乾電池は最初に使用するときのためにご用意しているものですので、１年未満で消耗することがあります。

ご注意

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破れつすることがありますので、つぎの点について特にご注意ください。
■新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
■充電式電池は寸法・性能などに、一部異なる部分がありますので使用しないでください。
■長期間使わないときは、乾電池をリモコンから取りはずしておいてください。

リモコンが使えないとき（応急自動運転）

リモコンの電池が切れたり、リモコンをなくしたりしたときに、応急的に運転・停止ができます。
運転の内容は自動運転です。（☞ 自動運転　7ページ）

パネルを開けます

オープンパネルの左右下側を手前に引いて、オープンパネルを開けます。

自動運転スイッチを押します

現在の室温と外気温に応じた自動運転を開始します。

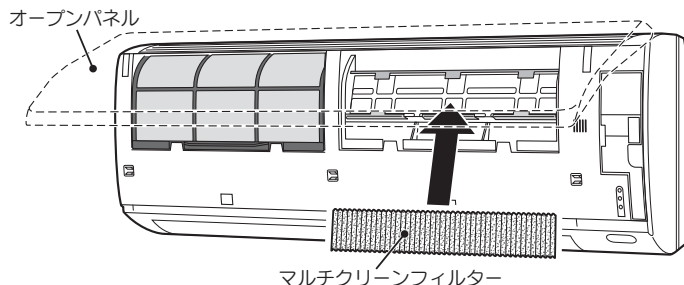
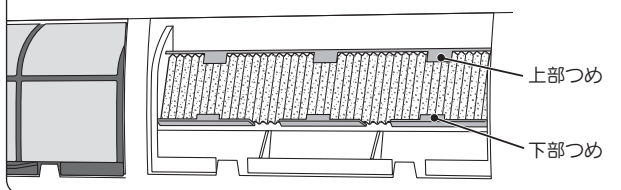
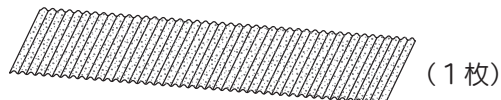
パネルを閉じます

オープンパネル下側の矢印部（３カ所）を押して、確実にオープンパネルを閉じてください。

ご注意

■自動運転スイッチで運転を開始したときに停止させる場合は、再度自動運転スイッチを押してください。
■自動運転スイッチを3秒以上押し続けると、内部乾燥運転を開始しますのでご注意ください。（☞ 内部乾燥運転 10ページ）

マルチクリーンフィルター（別売品）の取り付けかた

⚠注意	フィルターを取り付けるときは、必ず運転を停止し、電源プラグも抜いた状態でおこなってください。 運転中は内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になることがあります。

※お近くの販売店でお買い求めください。

●フィルター取り付け場所は室内ユニットの左右に２カ所（エアフィルターの下）あります。
　お好みで１枚または２枚フィルターを取り付けてください。
　（フィルター１枚の場合は、室内ユニットの左右どちらに取り付けてもかまいません）
●オープンパネルを開けて、エアフィルターをはずします。
　（エアフィルターのはずしかた ☞ お手入れのしかた　11ページ）
●マルチクリーンフィルターを、波状の面を表側にして前面パネルの上下のつめの内側にはめ込みます。
●エアフィルターをもとどおりに取り付け、オープンパネルを閉じます。

マルチクリーンフィルターについて

マルチクリーンフィルターはダニ·花粉などを捕集·吸着して抑制します。さらに脱臭·除菌·空気清浄効果もあります。
■一酸化炭素や有毒ガスを除去する効果はありません。
■空気の汚れ度合いによっては有効期間以内でも効果がなくなります。
■汚れたフィルターは洗って再使用することはできません。

4 省エネのためのじょうずな使いかた

エアフィルターの掃除はこまめに

エアフィルターの目づまりは、冷暖房能力を弱め、電気代がムダになります。２週間に一度はぜひお掃除をしてください。また、エアフィルターを付け忘れると、エアコン内部が汚れ、故障の原因になります。

風向調節をじょうずに

室温がむらにならないように風向を調節してください。温風は下向きに冷風は上向きに吹き出すようにお使いください。また、冷房·ドライ運転のときにルーバーを長時間下向きにしていると、ルーバーの表面に露が付き滴下することがありますのでご注意ください。

室内温度は適温に

冷やしすぎや暖めすぎは健康によくありません。また、電気のムダ使いにもなります。特に身体のご不自由な方や乳幼児、お子さま、お年寄り、ご病気の方などがご使用の場合は、周囲の方が常に注意してあげてください。

吸込口·吹出口をふさがない

エアコンの性能が低下したり、保護装置がはたらいて運転できないことがあります。

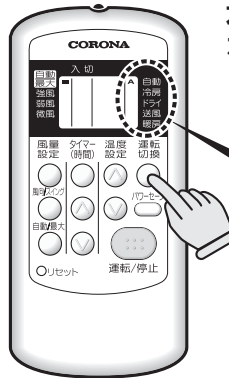
タイマーを有効に

おやすみ時やお出かけのとき、タイマーを有効に利用し、必要なときだけ運転するようにしましょう。電気のムダが省けます。

窓にはカーテンやブラインドを

冬の日中は日光を入れ、夜間はカーテンやブラインドで熱のもれを防ぎましょう。特に夏は直射日光を防ぐと省エネ効果があります。

5 自動運転

室内・室外の温度センサをもとに運転開始時の状況に応じて、冷房・モニタリング送風・暖房のいずれかを自動的に選んで運転します。室温と外気温が変化すると、自動的に運転モードが切り換わります。

運転/停止ボタンを押します

●リモコン液晶表示部と本体表示部の運転（セーブ）ランプが点灯し、運転を開始します。

お知らせ

■運転（セーブ）ランプの点灯色は通常【**緑色**】ですが、前回の運転がパワーセーブ運転のときは【**オレンジ色**】、風量最大運転のときは【**赤色**】に点灯します。

運転切換ボタンを押し、「自動」を選びます

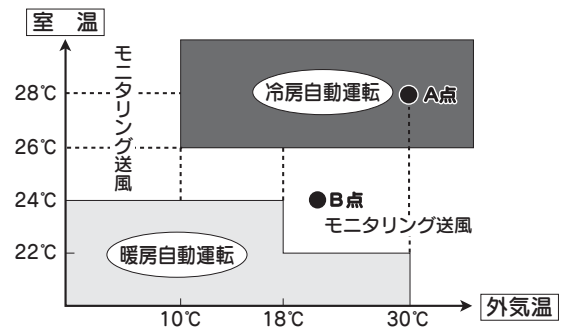
●運転切換ボタンを押すと、つぎの順番で運転の種類が切り換わります。

運転モードの選択

運転開始時の室温と外気温により自動的に運転モードを選択します。

例えば…

- ●外気温30℃、室温28℃(右図のA点)のとき ⇨ **冷房自動運転**
- ●外気温20℃、室温24℃(右図のB点)のとき ⇨ **モニタリング送風**

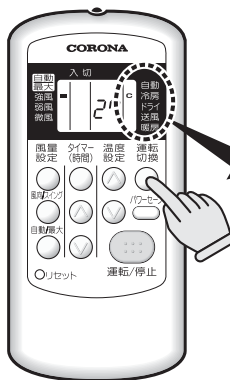
運転中は運転状況により、自動的に運転モードを切り換えます。

	運転の種類	設定温度	風 量	動 作 ・ 特 徴
運転内容	冷房自動運転	26℃	自 動	●運転開始時、約1分間超微風で運転します。（ニオイカット制御） ●室温が設定温度に近づくと、冷やしすぎないように設定温度をあげて自動運転をおこないます。
	モニタリング送風	――	微 風	●室温と外気温が変化して運転モードが確定するまで続けます。
	暖房自動運転	24℃	自 動	●足もとの冷え込みを防ぐために、室温が設定温度前後になっていても定期的に風向を下向きにし、風量をあげて運転する場合があります。（足もと気流制御） ●室温が設定温度に近づくと、暖めすぎないように設定温度をさげて自動運転をおこないます。

ご注意

■自動運転のときは、設定風量・設定温度の変更はできません。運転内容がお好みに合わないときは、手動運転に切り換えて風量・温度を調節してください。

■自動運転のときは、リモコンの液晶表示部に設定温度を表示しません。

6 手動運転（冷房・ドライ・送風・暖房）

手動で冷房・ドライ・送風・暖房を選んで、温度や風量を細かく調節できます。
一度セットすると、次回からは運転／停止ボタンを押すだけで同じ内容の運転ができます。

運転/停止ボタンを押します

●リモコン液晶表示部と本体表示部の運転（セーブ）ランプが点灯し、運転を開始します。

お知らせ

■運転（セーブ）ランプの点灯色は通常【**緑色**】ですが、前回の運転がパワーセーブ運転のときは【**オレンジ色**】、風量最大運転のときは【**赤色**】に点灯します。

運転切換ボタンを押し、「冷房」「ドライ」「送風」「暖房」のいずれかを選びます

A 自動
C 冷房
D ドライ
F 送風
H 暖房

●運転切換ボタンを押すと、つぎの順番で運転の種類が切り換わります。

設定温度を変えたいときは… 温度設定ボタンを押します。

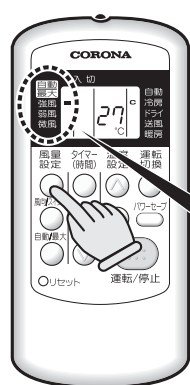
● Ⓐ ボタンを押すと設定温度があがり、Ⓥ ボタンを押すと設定温度がさがります。
●設置状況により、お部屋の温度計と一致しないことがあります。

設定温度範囲とおすすめ温度

室温と外気温との差が大きくなりすぎると健康によくありません。
おすすめ温度の範囲でのご使用が理想的です。

運転の種類	冷 房	ド ラ イ	送 風	暖 房
おすすめ温度	26〜28℃	室温より1〜2℃低め	——	20〜24℃
設定温度範囲	17〜30℃（1℃刻み）			

風量を変えたいときは… 風量設定ボタンを押し、お好みの風量を選びます。

風量「最大」運転は、２部屋などの空間に対して、全体をむらなく冷やしたり、暖めたりしたいときお使いください。
風量「自動」運転は、室温に応じ風の強さが自動的に変わります。
●風量設定ボタンを押すと、下図のローテーションAまたはBの範囲内で風量設定できます。

【ローテーションＡ】

「最大」→「強風」→「弱風」→「微風」→「最大」…の順で風量設定できます。
(「自動」にはできません)
自動最大 ■ のときは、「最大」運転をおこないます。

【ローテーションＢ】

「自動」→「強風」→「弱風」→「微風」→「自動」…の順で風量設定できます。
(「最大」にはできません)
自動最大 ■ のときは、「自動」運転をおこないます。

風量「最大」選択時の表示

【リモコン液晶表示部】
入 切
自動
最大
強風
弱風
微風

【本体表示部】
● 運転(セーブ)
赤色に点灯
（※強/弱/微風時は**緑色**に点灯）

風量「自動」選択時の表示

【リモコン液晶表示部】
入 切
自動
最大
強風
弱風
微風

【本体表示部】
● 運転(セーブ)
緑色に点灯

※パワーセーブ運転（☞ 9ページ）時は、どの風量設定でも運転（セーブ）ランプは**オレンジ色**に点灯します。

●風量「最大」または「自動」の運転状態の識別は、本体表示部の運転（セーブ）ランプの点灯色でお知らせします。
●自動/最大ボタンによる切り換えをしない限り、同じローテーション内で風量切り換えをおこないます。

最大/自動(ローテーションA/B)の切り換えをしたいときは… 自動 / 最大ボタンを押します。

※現在の風量設定によりボタンを押す長さが異なります。

切り換え内容	操作方法
風量「最大」(ローテーションA) ▼ 風量「自動」(ローテーションB)	自動/最大ボタンを押す（３秒以内）
風量「自動」(ローテーションB) ▼ 風量「最大」(ローテーションA)	自動/最大ボタンを３秒押す（長押し）

※各ローテーションのどの風量設定からでも、自動/最大ボタンの操作により風量「最大」または風量「自動」へ切り換わります。

ご注意

■エアコンをお買い上げ後の初使用時や、停電後などの通電再開時には、風量設定はローテーションAとなります。風量「自動」(ローテーションB)にしたい場合は、自動/最大ボタンで切り換えてください。
■パワーセーブ運転(☞ 9ページ)時は、風量「最大」を選択しても「強風」にて運転します。
■ドライ運転は、風量「自動」で運転し、風量設定ボタンや自動/最大ボタンを押しても風量の切り換えは受付けません。

ご注意

■冷房運転の風量「自動」・ドライ運転を開始したときは、約１分間超微風で運転します。（ニオイカット制御）
■湿度が高いときに長時間冷房・ドライ運転をすると、吹出口付近に露が付き滴下することがあります。
■ドライ運転時、室温が設定温度より高いときはコンプレッサーの運転を高め除湿能力をアップし、室温がそれほど高くないときはコンプレッサーの運転を低めにして室温の低下を極力おさえます。

冷房シーズン終了時にはカビの発生をおさえるために、内部乾燥運転をおこない内部をよく乾燥させてください。（☞ 内部乾燥運転 10 ページ）

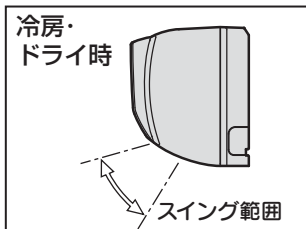
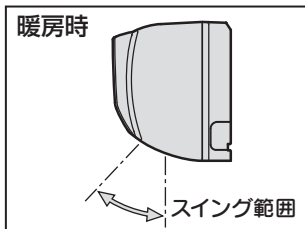
7 風向/スイング運転(風向調節)

お部屋全体をむらなく暖めたり、冷やしたいときにお使いください。
暖房運転時は垂直位置付近でルーバーをスイングさせ、お部屋全体を暖かい風でつつみ込みます。
冷房運転時は水平位置付近でルーバーをスイングさせ、涼風感を高めます。

スイング運転

風向 / スイングボタンを押すとスイング運転を開始します。

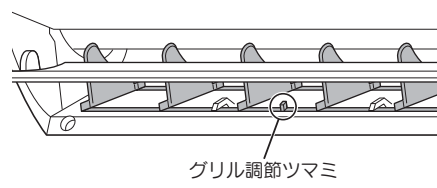
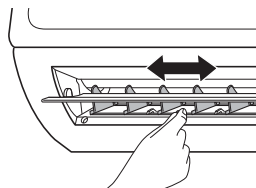
やめるときは… 再度、風向/スイングボタンを押します。

●ボタンを押したときの位置でルーバーが停止します。

ルーバーの調節(上下の風向調節)

運転中に風向 / スイングボタンを押します。

●ルーバーがスイングを始めますので、お好みの位置でもう一度、風向 / スイングボタンを押してルーバーをとめてください。

左右風向グリルの調節(左右の風向調節)

ルーバーをリモコンでお好みの位置でとめてから、グリル調節ツマミを手でおさえて左右に調節します。

⚠警告	吹出口の奥の方まで指を入れないでください。内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

ご注意

■運転停止時や入タイマーセット時はルーバーを自動的に閉じます。
■運転停止中や入タイマーセット中は、ルーバーの調節はできません。
■暖房運転開始時は、冷風防止のため予熱(ホットスタート)をします。この予熱をしている間は、風向/スイング運転を選択してもルーバーは下吹きで停止します。(予熱が終了してから、スイング運転を開始します。)
■ルーバーは手で調節しないでください。誤動作したり、ルーバー表面に露が付き滴下することがあります。
■長時間ルーバーを下向きにしたり、左右風向グリルを大きく左右にわけた状態で冷房やドライ運転をすると、吹出口付近に露が付き滴下することがあります。
■左右風向グリルの調節時は、ルーバーをスイングさせないでください。

8 パワーセーブ運転

最大運転電流を低くおさえた運転をおこないます。
春先や秋口など大きなパワーを必要としないときや、複数のお部屋で同時にエアコンを運転させたり、他の電気製品と同時に使ったりするときなど、ブレーカーが切れるような場合にお使いください。

パワーセーブボタンを押すとパワーセーブ運転を開始します。

●本体表示部の運転（セーブ）ランプが**オレンジ色**になります。

パワーセーブ運転時の最大運転電流

暖房時	冷房時
約8A	約7A

やめるときは… 再度、パワーセーブボタンを押します。

●本体表示部の運転（セーブ）ランプが**オレンジ色**から**緑色**（風量「最大」運転をしていたときは**赤色**）にかわり、元の運転にもどります。

ご注意

■パワーセーブ運転は電流値をおさえた運転をおこなうため、よく冷えない（よく暖まらない）場合があります。お使いの状況に応じて通常運転と使いわけてください。
■パワーセーブ運転中に運転を停止した場合、次回もパワーセーブ運転で運転を開始します。
■パワーセーブ運転中は、風量「最大」設定にしても「強風」の運転をおこないます。

9 内部乾燥運転

内部乾燥運転は、冷房シーズン終了時などのクリーン機能として室内ユニット内部を乾燥させ、イヤなニオイの原因となるカビや細菌の繁殖を抑えます。

エアコン停止中に室内ユニットの自動運転スイッチを３秒以上押すと内部乾燥運転を開始します。

自動運転スイッチは、室内ユニットのオープンパネルをあけた場所にあります。（☞ 5ページ）
- 内部乾燥運転中は、室内ユニットの運転（セーブ）ランプが**赤色**に点灯します。
- 内部乾燥運転は、運転開始約60分後に自動的に停止します。

お知らせ

■内部乾燥運転中は、ルーバーは水平方向に開きます。
■内部乾燥運転を途中で停止させたいときは、自動運転スイッチを短く１回（１秒程度）押してください。
また、リモコンで停止する場合は、一度リモコンの運転 / 停止ボタンを押して、液晶表示部を表示させてから、再度運転 / 停止ボタンを押してください。

ご注意

■エアコン運転中に自動運転スイッチを押すと、現在の運転を停止するだけですので、停止後再度操作してください。
■内部乾燥運転をさせたいとき、自動運転スイッチを押し３秒以内に手をはなすと、応急自動運転を開始しますのでご注意ください。（☞ 応急自動運転　5ページ）
■内部乾燥運転は、微弱暖房運転と送風運転により室内ユニット内部の乾燥をおこないます。このとき、室内の温度・湿度が若干上昇しますので、窓を開けてお使いになることをおすすめします。
■内部乾燥運転は、すでに発生したカビや雑菌を除去するはたらきや、殺菌効果はありません。

10 タイマー運転

タイマーをじょうずに使って必要な時間だけ運転するようにしましょう。（切タイマーと入タイマーの同時設定はできません）

切タイマー（運転 ➡ 停止）のセット

タイマー切換ボタンを押します。

つぎの順番に表示が切り換わります。

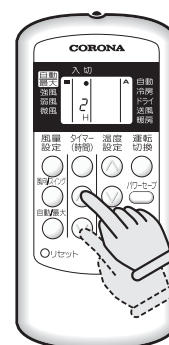
「切」● を選択します。

- 本体表示部のタイマーランプが点灯します。

時間をセットします。

Ⓐ・Ⓥボタンを押してエアコンを停止させたい時間に合わせます。
（表示の時間後にエアコンの運転を停止します。）

セット終了です。

※1時間から12時間まで１時間単位でセットできます。
※セット時間は記憶されます。

自動運転で切タイマー運転をした場合のみ、通常の設定温度に対し右記のように設定温度を変更します。
おやすみ中は体温調節機能が低下しますので、暖めすぎや冷えすぎのないように室温コントロールします。

	切タイマー運転開始１時間後の設定温度	切タイマー運転開始２時間後の設定温度
暖房時	約２℃低め	約４℃低め
冷房時	約１℃高め	約２℃高め

（２時間後以降は、２時間後の設定温度と同じままとなります。）

入タイマー（停止 ➡ 運転）のセット

タイマー切換ボタンを押します。

つぎの順番に表示が切り換わります。

「入」○ を選択します。

- 本体表示部のタイマーランプが点灯します。

時間をセットします。

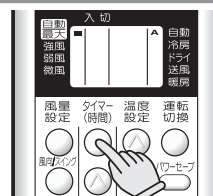
Ⓐ・Ⓥボタンを押してエアコンを運転させたい時間に合わせます。
（表示の時間後にエアコンの運転を開始します。）

セット終了です。

※1時間から12時間まで１時間単位でセットできます。
※セット時間は記憶されます。

タイマーセットの 取消

再度、タイマー切換ボタンを押して連続運転にします。

「切」●タイマーのとき ⇨ ●とタイマー時間の表示は消えます。（２回押し）
「入」○タイマーのとき ⇨ ○とタイマー時間の表示は消え運転を開始します。
- 本体表示部のタイマーランプが消灯します。

切タイマーは２回
入タイマーは１回

ご注意

■タイマー運転中に停電があったときは、通電が再開したらタイマーを再度設定してください。
■電池交換をすると切タイマーは１時間、入タイマーは６時間の設定となりますので再度設定してください。

11 お手入れのしかた

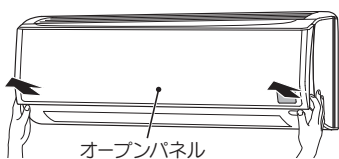
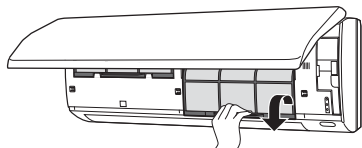
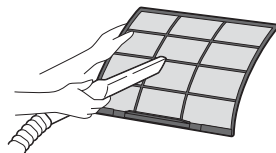
⚠警告	室内ユニット内部の洗浄はお客様自身ではおこなわず、必ずお買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄をおこなうと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になることがあります。また、洗浄剤が電気部品やモータにかかると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
⚠注意	お手入れをするときは、必ず運転を停止し、電源プラグも抜いてからおこなってください。内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になることがあります。

室内ユニット・リモコン

●やわらかい布でからぶきする。
●汚れがひどいときは、40℃以下のぬるま湯か水を含ませた布をかたくしぼってふく。

お願い
- 直接水をかけないでください。
- ベンジン、シンナー、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは、変形、変色、傷の原因になりますので使用しないでください。

エアフィルター

●オープンパネルの左右下側を手前に開き、"カクッ"と音がする位置（約60°）で固定する。

●エアフィルターのツマミをつまんで少し持ち上げ、下方に引き出す。

●掃除機で吸い取るか、軽くたたいて汚れを取り除く。
●汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かした40℃以下のぬるま湯か水で洗う。
洗った後はよくすすいで、水気を十分ふきとり、日陰で乾かす。

●エアフィルターをガイドに沿って差し込み、確実にはめ込む。

●オープンパネル下側の矢印部（3ヵ所）を押して、確実にオープンパネルを閉じる。

お願い
- 2週間に一度はお手入れをしてください。
エアフィルターが目づまりすると冷暖房効果が下がることがあります。
- エアフィルターを入れずに運転しないでください。
ほこり等が内部に入り、故障の原因になります。

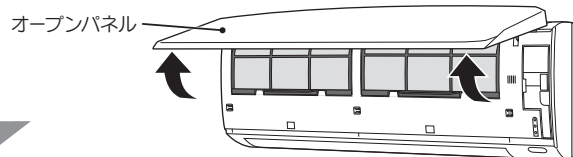
長期間使わないとき

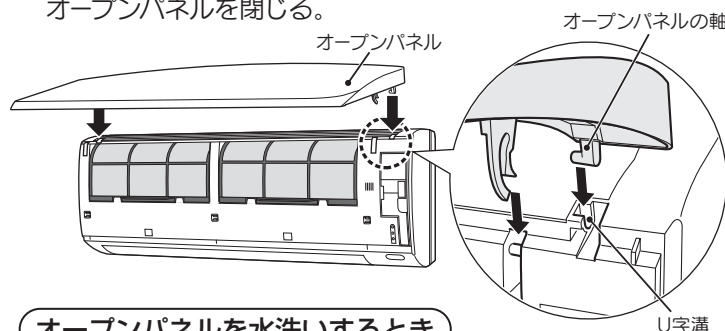
●内部乾燥運転をして室内ユニット内部を乾燥させる。
（☞ 10ページ）
●内部乾燥運転終了後、電源プラグを抜く。
●エアフィルターを掃除し、もとどおりに取り付ける。
●リモコンの電池を取り出す。

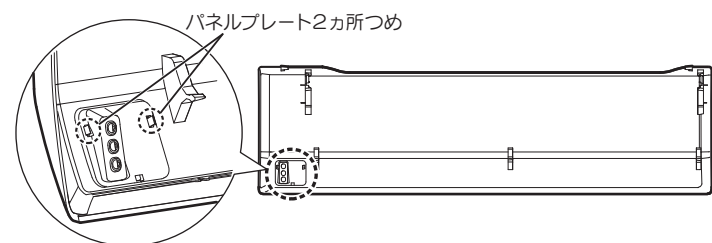
使い始めるとき

●アース線が断線したり、はずれていないか確認する。
（アースが不確実な場合、感電や火災の原因になります。アース工事は、お買いあげの販売店または専門業者にご依頼ください。）
●室外ユニットの吸込口・吹出口がふさがれていないか確認する。
●電源プラグを差し込む。
●リモコンに電池を入れる。（☞ 5ページ）

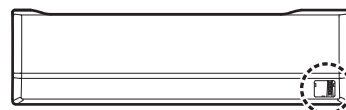
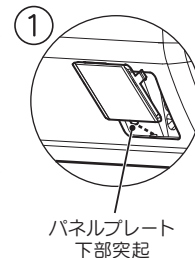
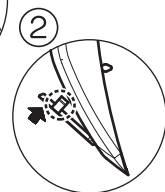
オープンパネル

●オープンパネルの左右下側を手前に引いて開き、"カクッ"と音がする位置（約60°）よりさらに上方に軽く持ちあげてはずす。

●やわらかい布でからぶきする。
（汚れがひどいときはパネルプレートをはずして水洗いする。
※下記参照）

●オープンパネルを水平に持ち、室内ユニット上部左右にあるU字溝にオープンパネルの軸がはまるようにのせて、確実にオープンパネルを閉じる。

オープンパネルを水洗いするとき

●オープンパネルを裏返し、パネルプレートの2ヵ所のつめを指で軽くたわませ、角穴から押し出す。

お願い
- つめを強くたわませないでください。つめが折れることがあります。
- 水洗いするときはパネルプレートを必ずはずしてください。
オープンパネルとのすき間に水が入り込むことがあります。

●中性洗剤を溶かした40℃以下のぬるま湯か水で洗う。洗った後はよくすすいで、水気を十分ふきとり、日陰で乾かす。
●はずしたパネルプレートも同様にお手入れする。

●パネルプレートをオープンパネルに取り付ける。

①オープンパネル表側より、パネルプレート下部の突起をオープンパネルの角穴に差し込む。

②パネルプレート上部を押し、2ヵ所のつめをオープンパネルの角穴へ"パチッ"と音がするまで押し込む。

12 エアコンの運転と性能について

暖房運転の特性

●冷風防止のため、室内熱交換器が暖まってから温風を吹き出しますので、運転開始後約５分間は温風が出ません。
●室内温度が設定温度になると、自動的に能力と風量をおさえた運転になります。

外気温と暖房能力の関係

●外気の熱を室内に取り込み暖房するため、一般的に外気温が低下すると、暖房能力が低下します。
このエアコンは、インバーターのはたらきにより能力低下を防ぎますが、極端に外気温がさがると暖房不足を感じることがありますので、そのようなときは他の暖房器具との併用をおすすめします。

ニオイカット制御について

●自動運転で運転を開始して冷房が選択されたときと、手動運転で冷房の風量「自動」・ドライを選択して運転を開始したときに自動的にニオイカット制御がはたらきます。運転開始後、約１分間超微風で運転し、熱交換器を急速に冷やす制御（ニオイカット制御）でお部屋に流れ出る臭いを軽減します。

除霜運転

●暖房運転中、室外熱交換器に霜が付いた場合、暖房能力の回復のため、自動的に除霜運転をおこないます。
除霜運転は約２～10 分間かかり、その間の送風（温風）は停止となります。除霜による排水が室外ユニットの下から流れ出ます。

エアコンの運転条件

冷房運転 ドライ運転	外気の温度/約21℃以上　43℃以下 部屋の温度/約21℃以上　32℃以下 部屋の湿度/80%以下 80%をこえた状態で長時間運転すると室内ユニットの表面に露が付き滴下することがあります。
暖房運転	外気の温度/21℃以下 部屋の温度/28℃以下

この条件以外の温度で運転されますと保護装置がはたらいて運転できないことがあります。運転設定・条件によっては、設定以上の風量になることがあります。

3分間保護について

●運転停止後すぐに運転/停止ボタンを押し直したときや、電源プラグを差し込んだ直後には、エアコンを保護するため、室外ユニットは約３分間経過してから運転を開始します。

13 このようなときには

症状		原因・処置方法
故障ではありません	冷房またはドライ運転開始時、吹出口から白い霧状の冷気が出る場合がある	●お部屋の空気が急に冷やされて白く見えることがあります。
	部屋が臭う	●壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んでいる臭いが出てくるためです。
	“シューシュー”“ピシピシ”などの音がする	●シューシューと水の流れるような音は管の中を流れる冷媒の音です。 ●ピシピシ音は、温度の変化により部品が伸び縮みするときの音です。
	運転開始時、ルーバーが一瞬停止する	●ルーバーの位置決めをするため、運転開始時にルーバーが一瞬停止することがあります。
	運転開始時および運転停止時にルーバーから“クックッ”“カタカタ”音が発生する	●ルーバーの位置決めをする際、発生することがあります。
	室外ユニットから白い霧状の湯気が出る	●自動的に室外ユニットの送風機が停止し、除霜運転をおこなっています。
	室内ユニットから“ポコポコ”という音が発生したり、水もれがおきる	●高気密住宅で強力な換気扇などを使用した場合や、高層住宅など高所に据え付けた場合、ドレン水がスムーズに流れないために発生することがあります。 お買いあげの販売店またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。
	エアコン背面に露が付く	●このエアコンは背面に付いた露をドレンパンに集めて排水する構造になっていますので、結露しても異常ではありません。
	風量が強すぎる	●風量が「最大」に設定されていませんか。（☞ 手動運転　8ページ）
もう一度お調べください	運転しない	●停電ではありませんか。 ●リモコンの電池が切れていませんか。 ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグがはずれていませんか。
	よく冷えない よく暖まらない	●室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 ●エアフィルターにほこりやゴミがつまっていませんか。 ●室外ユニットに常時強風があたっていませんか。 ●風量設定が「微風」になっていませんか。 ●パワーセーブ運転中ではありませんか。 ●ドアや窓が開いていませんか。 ●ルーバーが適正な位置になっていますか。 ●室温設定が適正な温度になっていますか。
停電のとき	運転中に停電したとき	●すべての運転を停止します。通電が再開すると、本体表示部の運転（セーブ）ランプ【緑色】が点滅してお知らせします。運転をつづけたいときは、再度運転 / 停止ボタンを押してください。
	タイマーセット中に停電したとき	●すべての運転を停止し、タイマー予約は取り消しとなります。通電が再開すると、本体表示部の運転（セーブ）ランプ【緑色】が点滅してお知らせします。通電再開後、再度設定してください。
運転中誤作動したとき	万一、カミナリ・カー無線などにより誤作動したとき	●コンセントから電源プラグを抜き、もう一度差し込みなおしてから、運転/停止ボタンを押しなおしてください。

⚠警告

エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒のもれが原因のひとつとして考えられますので、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターにご相談ください。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常もれることはありませんが、万一冷媒が室内にもれ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

■本体表示部のランプが点滅している場合は故障です。

運転(セーブ)　○
タイマー　○
CORONA

（ただし、運転（セーブ）ランプ**【緑色】**が点滅（1秒間に1回の連続）している場合は停電表示です。正常に再運転できれば故障ではありません。）
運転を停止して電源プラグを抜いた後、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターに修理を依頼してください。その際、**点滅しているランプの種類・色・点滅回数**をお知らせください。

【点滅回数について】
（例）3回点滅の場合、1秒間に1回の点滅を連続3回し、3秒消灯後同じ動作を繰り返します。

※ランプの点滅速度は1秒間に1回が基本ですが、タイマーランプのみ1秒間に5回の早い点滅をする場合があります。

14 据え付け

⚠警告	エアコンの据え付けや移動再設置には、専門の技術が必要です。 お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。 据え付けに不備があると水もれや感電・火災などの原因になります。

据え付け場所【このような場所への設置はさけてください。また、設置後もときどき確認してください。】

●可燃性のガスがもれる恐れのある場所
●ドレン水を円滑に排水できない場所
- ●特に寒冷地では除霜排水が室外ユニットに氷結して性能の低下・故障などの原因になることがありますのでご注意ください。

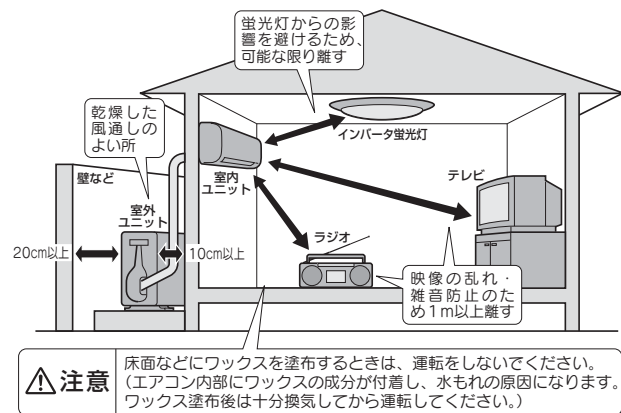
●油煙や蒸気にさらされる場所や機械油の多い場所
●テレビやラジオが1m以内、テレビのアンテナが3m以内にある場所

火災報知器が吹出口より1.5m以内にある場所

●海岸地区のような塩分の多い場所
●温泉地のような硫化ガスの発生する場所
●動植物に直接風があたる場所
●吸込口や吹出口がふさがれる場所
●積雪で室外ユニットがふさがれてしまう場所
●海岸地区やビルディング上階部など室外ユニットに常時強風のあたる場所
●業務用としての使用および車両、船舶など移動するもの

騒音にもご配慮を

●強度が十分で、騒音や振動が他へ伝わったり、増大しないような場所をお選びください。
●室外ユニットの吹出口の近くに障害物を置きますと、騒音増大のもとになることがあります。
●室外ユニットの吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
●エアコンをご使用中異常音がする場合は、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターにご相談ください。

⚠注意	床面などにワックスを塗布するときは、運転をしないでください。 （エアコン内部にワックスの成分が付着し、水もれの原因になります。 ワックス塗布後は十分換気してから運転してください。）

15 仕様

型式			室内ユニット CSH-B56122	室外ユニット COH-B56122
種類			冷房・ヒートポンプ暖房兼用形　分離形	
電源			単相 200V	
冷房	能力 (kW)		5.6(0.7～5.7)	
	消費電力 (W)		2360(155～2400)	
	エネルギー消費効率 (COP)		2.37	
	運転電流 (A)		13.11	
	運転音 (dB)		52	53
	面積の目安 (m²)	鉄筋アパート 南向き洋室	39	
		木造 南向き和室	25	
暖房	標準能力 (kW)		6.7(0.7～8.7)	
	標準消費電力 (W)		1930(150～2805)	
	エネルギー消費効率 (COP)		3.47	
	運転電流 (A)		10.72	
	運転音 (dB)		52	52
	面積の目安 (m²)	鉄筋アパート 南向き洋室	30	
		木造 南向き和室	24	
通年エネルギー消費効率 (APF)			5.0	
区分名			F	
質量 (kg)			10.5	43.5
外形寸法 (高さ×幅×奥行) (mm)			290×795×247	675×792×310
付属品			リモコン・リモコンホルダー・乾電池(単4形 2個)・ドレンニップル・その他	

●この仕様値はJIS規格(JIS C9612)にもとづいて表示してあります。
●エネルギー消費効率(COP)の数値は、冷房運転または暖房運転のときの消費電力1kWあたりの冷房・暖房能力(kW)を表示したものです。
●通年エネルギー消費効率(APF)の数値は、1年間を通してある一定の条件の下にエアコンを運転したときの消費電力1kWあたりの冷房・暖房能力(kW)を表したものです。
●区分名とは、家庭用品品質表示法にもとづく表示です。
●この製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
●長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。リモコンで運転を「停止」していても約０.７Ｗの電力を消費します。

16 修理・保証

修理サービスについて

- ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切後10年です。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。くわしくはお買いあげの販売店またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターにご連絡ください。
ご連絡の際には、つぎの5点をはっきりとご連絡ください。

- 型式（品番）
  （本体銘板（☞3ページ）または保証書をごらんください）
- ご住所・ご氏名・お電話番号
- 訪問ご希望日
- お買いあげ日（保証書をごらんください）
- 故障内容（本体表示部のランプが点滅しているときは､その内容を確認してください）（☞12ページ）

保証書について

このコロナルームエアコンには「保証書」が付いています。
- 保証書はお買いあげの販売店でお渡しいたしますので、必ずお受け取りください。
  万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたしますので、保証書記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
- 保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。
  もし記入がないときは、すぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。
- このコロナルームエアコンの保証期間はお買いあげいただいた日から1年（ただし、冷却装置の保証期間は5年）です。保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をごらんください。

■エアコン取りはずし・廃棄時にご注意願います。

家庭用エアコンには最大でCO_2（温暖化ガス）3,600kg に相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

【冷媒の見える化表示について】

この表示は、家庭用エアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。ルームエアコン取りはずしの際は、フロン類の回収が必要です。〈廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロン類の適正処理がなされます〉

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのルームエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化など料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ポンプダウン作業は「強制冷房運転（リモコンの風量設定ボタンを押したまま運転/停止ボタンを押す）」でおこなってください。

ご相談先 お客様ご相談窓口一覧表をごらんください。

17 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍におこなっています。

【製造年】（本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

【設計上の標準使用期間】　10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

【標準使用条件】ルームエアコンディショナの設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件による（JIS C 9921-3）

環境条件	電源電圧	定格表示電圧による
	周波数	定格表示周波数による
	冷房室内温度	27℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47%（湿球温度19℃）
	冷房室外温度	35℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度24℃）
	暖房室内温度	20℃（乾球温度）
	暖房室内湿度	59%（湿球温度15℃）
	暖房室外温度	7℃　（乾球温度）
	暖房室外湿度	87%（湿球温度 6℃）
	設置条件	機器の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	機器能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年あたりの使用日数	東京モデル 冷房　6月2日から9月21日までの112日間 暖房　10月28日から4月14日までの169日間
	1日あたりの使用時間	冷房　9時間/日 暖房　7時間/日
	1年間の使用時間	冷房　1,008時間/年 暖房　1,183時間/年

■設計上の標準使用期間とは、運転時間や温湿度など、左記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

ご注意

■設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。
■設置状況や環境、使用頻度が左記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。

名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

●アフターサービスのお問い合わせは下記へどうぞ

コロナサービスセンター

0120-919-302
（修理受付専用ダイヤル）

携帯電話・PHS等からは最寄のサービスセンターへ直接おかけください。

FAX 0120-919-322

受付時間　午前9時～午後7時(日曜、祝祭日は除く)

地区	名称	所在地	〒	TEL	FAX
北海道地区	札幌支店	札幌市白石区平和通16丁目南1-19	〒003-0028	TEL(011)864―0440(代表)	FAX(011)863―3154
	旭川営業所	旭川市東旭川南1条2丁目2-5	〒078-8261	TEL(0166)37―2330(代表)	FAX(0166)37―2338
	北見営業所	北見市卸町1丁目1-3	〒090-0056	TEL(0157)36―9009(代表)	FAX(0157)36―5959
	釧路営業所	釧路市花園町4-17	〒085-0038	TEL(0154)24―4191(代表)	FAX(0154)24―0451
	帯広営業所	帯広市西18条北1丁目17-1	〒080-0048	TEL(0155)35―7518(代表)	FAX(0155)35―7510
	函館営業所	函館市西桔梗町21-2	〒041-0824	TEL(0138)48―6070(代表)	FAX(0138)48―6080
	北海道地区 サービスセンター	札幌市白石区米里3条2丁目6-25	〒003-0873	TEL(011)879―2121(代表)	FAX(011)871―2400
北東北地区	青森支店	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)742―8255(代表)	FAX(017)742―8275
	青森地区 サービスセンター	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)743―2971(代表)	FAX(017)743―1118
	八戸営業所	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)24―5289(代表)	FAX(0178)45―4290
	八戸地区 サービスセンター	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)47―6609(代表)	FAX(0178)71―1344
	弘前営業所	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)28―3910(代表)	FAX(0172)28―0191
	弘前地区 サービスセンター	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)26―4770(代表)	FAX(0172)29―1133
	盛岡営業所	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)622―4791(代表)	FAX(019)622―5244
	水沢営業所	奥州市水沢区水沢工業団地4丁目79	〒023-0002	TEL(0197)22―4155(代表)	FAX(0197)22―4452
	盛岡地区 サービスセンター	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)604―0281(代表)	FAX(019)604―0283
	秋田営業所	秋田市泉中央4丁目4-18	〒010-0917	TEL(018)864―5671(代表)	FAX(018)864―8468
	秋田地区 サービスセンター	秋田市外旭川三千刈109-1	〒010-0802	TEL(018)864―5219(代表)	FAX(018)864―5760
南東北地区	仙台支店	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32	〒983-0035	TEL(022)235―3181(代表)	FAX(022)236―8810
	山形営業所	山形市東青田3-6-28	〒990-2423	TEL(023)642―3255(代表)	FAX(023)642―3254
	庄内営業所	酒田市錦町1-183-1	〒998-0103	TEL(0234)31―0571(代表)	FAX(0234)31―0581
	郡山営業所	郡山市亀田1-51-9	〒963-8033	TEL(024)938―2240(代表)	FAX(024)938―3021
	南東北地区 サービスセンター	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31	〒983-0035	TEL(022)783―1791(代表)	FAX(022)783―1792
関東地区	北関東支店	さいたま市北区宮原町1-674-2	〒331-0812	TEL(048)651―1722(代表)	FAX(048)651―6370
	水戸営業所	水戸市笠原町653-2	〒310-0852	TEL(029)241―2172(代表)	FAX(029)241―4268
	つくば営業所	つくば市谷田部6788-19	〒305-0861	TEL(029)839―5325(代表)	FAX(029)836―1913
	宇都宮営業所	宇都宮市簗瀬町2313	〒321-0933	TEL(028)632―5105(代表)	FAX(028)632―5205
	太田営業所	太田市高林東町2375	〒373-0825	TEL(0276)38―6571(代表)	FAX(0276)38―5508
	高崎営業所	高崎市問屋町西1-3-22	〒370-0007	TEL(027)361―4806(代表)	FAX(027)361―9139
	首都圏支店	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3927―1151(代表)	FAX(03)3927―1160
	立川営業所	立川市高松町1-22-3	〒190-0011	TEL(042)519―5271(代表)	FAX(042)528―2382
	千葉営業所	松戸市高塚新田95-5	〒270-2222	TEL(047)312―8330(代表)	FAX(047)312―8338
	横浜営業所	横浜市戸塚区原宿4丁目7-13	〒245-0063	TEL(045)852―4008(代表)	FAX(045)852―5540
	甲府営業所	山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2	〒409-3866	TEL(055)268―1567(代表)	FAX(055)268―1569
	関東地区 サービスセンター	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3911―1131(代表)	FAX(03)3927―1130
信越地区	新潟支店	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32―2126(代表)	FAX(0256)35―8519
	新潟東営業所	新潟市東区江南1-6-41	〒950-0855	TEL(025)286―9131(代表)	FAX(025)286―3313
	長野営業所	長野市大豆島5312	〒381-0022	TEL(026)221―5111(代表)	FAX(026)221―0039
	松本営業所	松本市笹賀大久保原7852	〒399-0033	TEL(0263)26―0051(代表)	FAX(0263)25―9961
	信越地区 サービスセンター	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32―2129(代表)	FAX(0256)32―2137
北陸地区	金沢支店	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260―0567(代表)	FAX(076)260―0775
	富山営業所	富山市田中町2-3-15	〒930-0985	TEL(076)444―0567(代表)	FAX(076)444―0611
	福井営業所	福井市和田東1-607	〒918-8237	TEL(0776)23―0567(代表)	FAX(0776)23―0580
	北陸地区 サービスセンター	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260―0038(代表)	FAX(076)260―0738
東海地区	名古屋支店	名古屋市熱田区桜田町16-11	〒456-0004	TEL(052)746―6600(代表)	FAX(052)884―6551
	岐阜営業所	岐阜市六条南2-7-8	〒500-8358	TEL(058)268―7555(代表)	FAX(058)268―7550
	静岡営業所	静岡市駿河区高松2-15-30	〒422-8034	TEL(054)238―0005(代表)	FAX(054)238―0006
	沼津営業所	沼津市西椎路888-1	〒410-0303	TEL(055)968―6210(代表)	FAX(055)968―6212
	津営業所	津市高茶屋3-29-38	〒514-0819	TEL(059)234―8471(代表)	FAX(059)234―8472
	東海地区 サービスセンター	名古屋市熱田区桜田町16-11	〒456-0004	TEL(052)746―6603(代表)	FAX(052)884―6554
近畿・四国地区	大阪支店	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6380―2111(代表)	FAX(06)6386―7262
	彦根営業所	彦根市正法寺町南出78	〒522-0024	TEL(0749)24―6239(代表)	FAX(0749)26―2116
	京都営業所	京都市伏見区竹田段川原町211	〒612-8414	TEL(075)643―2002(代表)	FAX(075)643―0870
	福知山営業所	福知山市荒河東町68	〒620-0061	TEL(0773)22―0827(代表)	FAX(0773)23―7592
	神戸営業所	神戸市西区枝吉5-132	〒651-2133	TEL(078)922―2431(代表)	FAX(078)922―2438
	高松営業所	高松市今里町1-8-5	〒760-0078	TEL(087)835―1711(代表)	FAX(087)835―0160
	松山営業所	松山市西垣生町780-3	〒791-8044	TEL(089)968―7351(代表)	FAX(089)968―7353
	近畿・四国地区 サービスセンター	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6386―5670(代表)	FAX(06)6386―5588
中国地区	広島支店	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871―3310(代表)	FAX(082)871―3306
	米子営業所	米子市目久美町235-1	〒683-0035	TEL(0859)33―8157(代表)	FAX(0859)23―0709
	岡山営業所	岡山市北区辰巳35-103	〒700-0976	TEL(086)243―7751(代表)	FAX(086)243―7191
	徳山営業所	周南市徳山字一ノ井手5631-4	〒745-0882	TEL(0834)22―5567(代表)	FAX(0834)22―5589
	中国地区 サービスセンター	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871―3315(代表)	FAX(082)871―0272
九州地区	福岡支店	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474―5771(代表)	FAX(092)474―5775
	北九州営業所	北九州市小倉北区愛宕2-6-4	〒803-0828	TEL(093)592―8611(代表)	FAX(093)592―8666
	長崎営業所	長崎県西彼杵郡時津町左底郷浜田74-1	〒851-2106	TEL(095)882―7710(代表)	FAX(095)882―7767
	熊本営業所	熊本市東区尾ノ上1-11-12	〒862-0913	TEL(096)367―7361(代表)	FAX(096)369―6323
	大分営業所	大分市三佐1-19-7	〒870-0108	TEL(097)523―5161(代表)	FAX(097)523―5162
	宮崎営業所	宮崎市霧島3-59-2	〒880-0032	TEL(0985)29―1680(代表)	FAX(0985)25―0685
	鹿児島営業所	鹿児島市田上7-16-5	〒890-0034	TEL(099)281―1321(代表)	FAX(099)281―1252
	九州地区 サービスセンター	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474―6001(代表)	FAX(092)474―6414
沖縄地区	沖縄営業所	宜野湾市宇地泊738 シーサイド・パーク102	〒901-2227	TEL(098)897―5677(代表)	FAX(098)897―5679

08032102

点検整備のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。エアコンを長持ちさせるために、通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
●エアコン内部のクリーニングは、お買いあげの販売店へご相談ください。お客様自身で実施されますと故障の原因となる可能性があります。
●点検整備は、お買いあげの販売店またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。

愛情点検　**長年ご使用のエアコンの点検を!**

●エアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。

このような症状はありませんか

■電源コードやプラグが異常に熱い
■こげくさい臭いがする
■室内ユニットから水もれがする
■運転音が異常に高くなる
■電源プラグやコンセントが変色している
■ヒューズやブレーカーがひんぱんに切れる
■架台や吊り下げなど取付部品が腐食、ゆるんでいる
■本体のスイッチやリモコンの操作が不確実
■その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。
点検・修理について詳しいことはお買いあげの販売店にご相談ください。

株式会社

〒955−8510　新潟県三条市東新保7−7
TEL(0256) 32-2111〈代表〉
ホームページ　http://www.corona.co.jp/

131WA2231- 0 1 2 3　dsp 24